

# 平成29年度事業報告書

## 1 事業概要

### 1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) シルバーファーマー事業（無料職業紹介事業含む）
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

### 2) 事業実績

#### (1) 農地利用集積円滑化事業【公1】

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家、規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として賃貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスを行い、具体的な利用権設定及び所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積及び流動化の推進に努めた。

また、昨年度に引き続き、公益財団法人栃木県農業振興公社に設置された農地中間管理機構が実施する農地の貸借事業について、地域の実情に精通している当公社が業務の一部を受託し、相談窓口の開設、機構集積協力金に絡む農地の貸付け、公募による農地の借受望者の受付等の業務を行った。

加えて、農地中間管理事業の促進を目的に、推進員1名を継続して雇用し、事業内容や制度の活用を周知するほか、農地の出し手や借受希望者の積極的な掘起しを継続して行った。

○合同受付・相談会開催日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利 用 権	黒 磯	4/5	—	6/2	—	—	—	
	西那須野	4/4	—	6/2, 29	—	—	9/6	
	塩 原	4/4	—	—	—	—	—	
所有権移転		4/17, 21	5/16, 25	—	7/25	8/22	9/15	
		10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	開催日数計

利 用 権	黒 磯	10/17	11/6	12/4	—	2/6, 7	3/5	8 日
	西那須野	10/18	11/9	12/7	—	2/8	3/9	9 日
	塩 原	10/19	11/10	12/8	—	2/8	3/6	6 日
所有権移転		10/17	11/15	12/13	—	2/19	3/27	12 日

○29年度利用権設定等実績（平成30年3月31日現在）

期末貸借総ストック 【(A) - (B) + (C)】

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
H29 期末総ストック (比較%)	2,016(104.1)	1,834.8(102.7)	1,437.9(103.7)	396.9(99.3)
H28 期末総ストック	1,936	1,785.7	1,386.0	399.7

(A) 期首貸借総ストック

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
H29 期首総ストック (比較%)	1,936(110.1)	1,785.7(108.0)	1,386.0(110.0)	399.7(101.6)
H28 期首総ストック	1,757	1,653.3	1,260.0	393.3

(B) 当年度満了・解約実績

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
満了・解約(比較%)	326(114.8)	324.3(116.1)	235.1(103.0)	89.2(174.2)
前年度満了・解約	284	279.4	228.2	51.2

(C) 当年度内集積実績

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)	
新規設定(比較%)	129(87.2)	103.1(75.5)	77.0(63.3)	26.1(174.0)	
再設定(比較%)	277(87.9)	270.3(98.2)	210.0(90.3)	60.3(141.5)	
計	406(87.7)	373.4(90.7)	287(81.0)	86.4(150.0)	
前年度	新規	148	136.6	121.6	15.0
	再設定	315	275.2	232.6	42.6
前年度計	463	411.8	354.2	57.6	

#### ①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約の締結を実施した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を実施した。

なお、田の設定件数及び集積面積が減少しているのは、農地売買等事業を通じた設定に切り替わったことや、当年度において期間満了を迎える契約件数が少なかったことが挙げられる。

畑の設定件数及び集積面積が増加しているのは、畜産農家の飼料作物生産の需要増や、当年度において期

間満了を迎える契約件数が多かったことが挙げられる。

○当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定(比較%)		48(85.7)	42.4(84.8)	33.7(71.2)	8.7(322.0)
再設定(比較%)		172(81.9)	197.8(92.7)	148.2(81.6)	49.6(156.5)
計		220(82.7)	240.2(91.2)	181.9(79.5)	58.3(169.5)
前年度	新規	56	50.0	47.3	2.7
	再設定	210	213.3	181.6	31.7
前年度計		266	263.3	228.9	34.4

②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借受けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

これに合わせて、その農地の新たな貸付先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸付けに係る賃貸借契約の締結を実施した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替及び貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ増加しているのは、農地所有者代理事業から農地売買等事業を通じての新規賃貸借が増えたことが挙げられる。

○当年度内集積実績

		借入件数	貸付件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定(比較%)		34(147.8)	34(147.8)	39.4(151.5)	25.5(139.3)	13.9(180.5)
再設定(比較%)		49(92.5)	56(107.7)	72.5(117.1)	61.8(121.2)	10.7(98.2)
計		83(109.2)	90(120.0)	111.9(127.3)	87.3(126.0)	24.6(132.3)
前年度	新規	23	23	26.0	18.3	7.7
	再設定	53	52	61.9	51.0	10.9
前年度計		76	75	87.9	69.3	18.6

○当年度内取扱実績

	借り手振替件数	貸し手振込件数	賃借料
平成29年度(比較%)	288(116.1)	294(114.8)	47,508,273円(115.3)
前年度	248	256	41,204,849円

③農地中間管理事業

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理機構を通じた農地の貸借事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家からの農地の貸付けに関する相談等に応じ、農地中間管理機構を通じた

農地の貸付けや機構集積協力金の活用について支援を行った。

これに合わせて、自身の農業経営の規模拡大を希望する認定農業者や新規就農者等からの農地の借受けに関する相談に応じ、農地中間管理機構が公募する農地の借受希望者としての申請や、農地の出し手とのマッチング等の支援を行った。

加えて、事業推進員が各農家、農業委員及び地区推進員を訪問し、事業の普及活動や地域の農地の移動状況等の情報収集を行ったほか、人・農地プランに基づいて農地の貸付希望者や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

なお、借入・貸付件数及び面積が前年度に比べ減少しているのは、機構集積協力金等のメリット措置の活用が図れず、農地所有者代理事業や農地売買等事業を通じての貸借借へ流れたことが挙げられる。また、借り受け希望者の公募状況において市内農家数が前年度に比べ減少しているのは、新規公募者が少なかったことが挙げられる。

○当年度内集積実績

	借入件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
平成 29 年度 (比較%)	13 (28.3)	21.3 (35.1)	17.8 (31.8)	3.5 (76.1)
前年度	46	60.6	56.0	4.6

○借受希望者の公募状況

	市内農家数	市外農家数	計
平成 29 年度 (比較%)	25 (27.5)	5 (166.7)	30 (31.9)
前年度	91	3	94

○推進員活動状況

- ・実施期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ・推進員数 1 名
- ・活動日数 延べ 103 日 (587 時間)
- ・活動距離 延べ 4,412 km
- ・訪問者数 次表のとおり

訪問先	訪問者数 (回数)
農地の出し手 (農地の貸付希望者等)	40 名 (107 回)
地域の担い手 (認定農業者等)	31 名 (100 回)
その他 (農業委員、地区推進員等)	48 名 (90 回)

※訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1名の所へ複数回訪問しているため。

④農地売買等事業 (特例事業)

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理事業の特例事業として農用地のあっせんに係る事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買受予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、栃木県農業公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。また、自身の農業経営改善計画の一策として保有する農地の規模拡大を目指す農業者の農地の買受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

○当年度内集積実績

	件数	面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
所有者から県公社へ売渡し (比較%)	10 (58.8)	14.4 (67.3)	3.2 (41.6)	11.2 (81.8)
前年度	17	21.4	7.7	13.7
県公社から担い手へ売渡し (比較%)	14 (82.4)	19.2 (89.7)	6.1 (42.7)	13.1 (184.5)
前年度	17	21.4	14.3	7.1

⑤機構集積協力金推進事業

農地中間管理機構を通じた農地の貸付けの相談時には、機構集積協力金の制度の説明を行うとともに、対象者の受給要件の確認や調査業務を適正に行い、協力金活用の推進を図った。

○機構集積協力金交付実績

	交付額 (対象戸数)	集積面積	交付単価
経営転換協力金	165,000 円 (1 戸)	0.3 ha	1ha 未満 / 10a / 50,000 円
	1,000,000 円 (2 戸)	3.2 ha	1ha~2ha / 500,000 円
	3,500,000 円 (5 戸)	13.0 ha	2ha 以上 / 700,000 円
耕作者集積協力金	144,000 円 (2 戸)	1.44 ha	10a / 10,000 円
計	4,809,000 円 (10 戸)	17.94ha	

(2) 農業者研修育成事業【公1】

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

①農業経営改善講演会の開催【公1】

経営管理能力の向上、農業農村の活性化及び農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の受講の機会を与え、積極的な参加促進を図った。

また、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷等、国内農業が直面する様々な課題を解決するための糸口として、本市の農業者が最新の情報を取得し経営管理能力向上の一助とすべく、有識者を招いて農業経営改善講演会を開催した。

開催日	内 容	人数
1月30日(火)	農業経営改善講演会 (会場: いきいきふれあいセンター) 「平成30年産米からの米生産調整見直しと水田農業の今後の展望」 講師 岐阜大学応用生物科学部 荒幡 克己 教授	110名

②農業者海外研修派遣事業【公1】

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等国際化の進展に対応でき

る優れた担い手を育成するための海外研修事業を行った。

栃木県農業振興公社主催の短期研修については、参加者1名が東南アジア諸国における農産物の流通事情等をテーマに、栃木県産のイチゴ等を輸入する商社や百貨店、スーパー、日本米を使ったおにぎりを販売する事業者等の視察研修を行った。

帰国後は、市長への報告を行ったほか、総まとめとして平成30年3月に農業経営改善計画審査会の中で実施報告を行った。今後においては地域農業のリーダーとしての活躍が期待できるものとする。

研修期間	内 容
H30. 1. 20 ~25 (6日間)	短期海外派遣研修 (マレーシア、シンガポール) 参加者名：古谷 哲郎 (市内二つ室/水稲、麦、大豆、餅加工)

### ③農村生活研究グループ協議会活動支援【公1】

市内の女性農業士や女性認定農業者等で構成する農村生活研究グループ協議会の事務局として、協議会への活動支援を行った。

農村生活研究グループ協議会は会員相互の連絡協調を密にし、農家生活・農業経営・男女共同参画・地域社会の課題解決活動を推進し、農村女性の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的に活動した。

会員の親睦を図るため1月末に小山市への研修旅行を開催した。

また、今年度は那須塩原市の特産品である牛乳といちごを研究対象とした地産地消レシピ作りを行った。レシピ集は500部作成し、会員、関係各所へ配布した。

平成29年度の会員数は25名であった。会員数に増減はなかった。

### ○農村生活研究グループ協議会活動内容

(1) 会議関係：4件 参加人数延べ 44名

開催日	事業名	内 容	人数
6月5日(月)	会員全員検討会	平成29年度活動計画について	14名
10月4日(水)	第1回役員会	産業文化祭について 視察研修について	5名
3月6日(火)	第2回役員会	定期総会について H30年度事業計画について H29年度会計監査について 役員改選について	5名
3月14日(水)	平成29年度定期総会	平成29年度事業報告・決算承認 平成30年度事業計画・予算(案)について 役員改選について	20名

(2) 事業関係：12事業 参加人数のべ 117名

開催日	事業名	内 容	人数
6月5日(月)	乳製品・いちご料理 持ち寄り品評会	会員が作った乳製品といちごを使った料理の研究、品評	14名
開催日	事業名	内 容	人数

6月21日(水)	槻沢小「食育・おにぎり作り講座」	4年生を対象に食育講話・紙芝居、寸劇、おいしいおにぎりの握り方の指導	6名
6月29日(木)	塩原小「食育・おにぎり・バター作り講座」	4年生を対象に食育講話・紙芝居、寸劇、おいしいおにぎりの握り方、手作りバターの作り方の指導	6名
7月26日(水)	料理講座「地産地消メニュー」	地域特産野菜を使った料理「にら、アスパラ、ねぎのおにぎらず」「なすのハンバーグ」「のっぺい汁」を作成	17名
8月26日(土)	三島公民館親子クッキング講座	三島公民館家庭教育学級参加者9組22名への料理指導、食育講話「なすのハンバーグ」「にらとアスパラとねぎのおにぎらず」を作成	5名
10月14日(土)	産業文化祭事前準備	産業文化祭で販売する商品の準備	11名
10月15日(日)	産業文化祭	「いも汁」「豆おこわ」「ジュース」の販売 「那須塩原産くり 安心安全キャンペーン」栗おこわの試食	11名
11月16日(木)	レシピ研究料理講座	牛乳、いちごを使った料理の研究 簡単グラタン、ミルクすいとん、鳥五目おこわ、いちごミルクプリン	11名
12月12日(火)	料理講座「牛乳レシピ研究」	レシピ集に掲載する「いちごミルクプリン」 「チーズ入りいちごおはぎ」の研究	5名
1月22日(月)	出張食育講座 おにぎり・バター作り体験	大貫小4～6年生におにぎりの握り方、バターの作り方、食育講話等を行った(19名参加)。	6名
1月26日(金)	出張食育講座 おにぎり作り体験	大貫小1～3年生におにぎりの握り方、紙芝居、食育講話等を行った(10名参加)。	6名
1月31日(水)	研修旅行	栃木県小山市方面 「いちごの里」「道の駅 思川」 「岩下の新生姜ミュージアム」	19名

(3) 那須地区農村生活研究グループ協議会関係

①那須地区会議関係：5件 参加人数延べ 23名

開催日	事業名	内 容	人数
4月11日(火)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第1回役員会	平成29年度活動計画について ほか	3名
7月12日(水)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第2回役員会	食と農の交流会について 活動交流交換会について	3名
10月20日(金)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第3回役員会	活動交換会等についての協議 定期総会・研修会について	3名
1月15日(月)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第4回役員会	定期総会について 研修会について	3名
3月2日(金)	平成29年度那須地区農村生活研究グループ協議会定期総会	平成29年度事業報告・決算承認 平成30年度事業計画・予算(案) 役員承認について	11名

②那須地区事業関係：3事業 参加人数延べ 23名

開催日	事業名	内 容	人数
9月6日(水)	那須地方食と農の交流会	那須地区の彩り野菜、簡単にできる赤飯、塩原金沢地区の地産地消メニュー等アイデア料理の調理実習、試食交流(40名参加)	5名
12月6日(水)	那須地区農村生活研究グループ活動交流会	代表者2名による市の活動報告：「食育活動について」 テーマ別グループワーク 4テーマに分かれてワークを行った。	9名
3月2日(金)	農村生活研究グループリーダー研修会	郷土食・伝統行事の由来・今私たちにできること 講師：半田 久江氏	9名

(4) 県農業生活研究グループ協議会関係：3件 参加人数延べ14名

開催日	事業名	内 容	人数
8月31日(木)	栃木県農村生活研究グループリーダー養成研修会	「始めてみませんか？青色申告」 「グループ別意見交換」 ・アグリライフフォーラムのあり方について	2名
2月15日(木)	アグリライフフォーラム2018	各地区の研究活動発表・意見発表を聞く	10名
3月22日(木)	県農村生活研究グループ協議会定期総会	平成29年度事業報告・決算承認 平成30年度事業計画・予算(案) 役員改選	2名

(5) 関係機関団体との連携：4件 参加人数延べ23名

開催日	事業名	内 容	人数
6月1日(木)	那須地方農村女性会議第16回定期総会	平成28年度事業報告 収支決算承認 平成29年度事業計画 収支予算について ほか	3名
6月26日(月)	農観商工連携推進協議会講演会	「えにしトラベルによるグリーンツーリズムと農産物直売所の物流改革」 講師：原田和之氏（株）ファーマーズフォレスト 経営戦略室室長	4名
8月18日(金)	農業・農村におけるワークライフバランス推進研修会（那須地方農村女性会議）	「家族経営協定とワークライフバランス」講師：中村由美子氏（中村牧場経営、女性農業者ネットワーク「きたひとネット」会長）	11名
11月21日(火)	那須地方農政講演会	「農業農村資源を生かす食と農と観光の連携戦略」 講師：（株）JTB国内事業部法人事業部観光戦略チーム日本PMDサポート室長：山下真輝 氏	5名

(3) 認定農業者育成事業【公1】

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしながら、認定農業者の経営改善相談等育成・支援と合わせて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織

化し、かつ、その強化を図り、会が中心となって講演会、講習会、研修会等を開催し、認定農業者の資質の



向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の運営全般について支援に当たった。

①農業経営改善計画書の作成支援及び審査【公1】

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を適宜開催し、認定農業者の確保及び新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会において計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、経営改善計画の後押しを目的に平成25年に国が策定した新たな経営指標については、認定日から3年目及び5年目を迎えた認定農業者については、経営改善計画書の更新時に取組状況の確認を行い、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨周知を図った。

なお、資格更新者が一部減少した一方で、補助事業活用等に伴う新規申請や、期限切れの農業者へ手続の周知、指導を徹底したことで、認定農業者の総数は横ばいとなっている。

○認定農業者数の推移 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	639	638	639	640	636	637
(当月認定者数)	(9)	(10)	(3)	(4)	(8)	(6)
	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月
認定農業者数	638	637	637	638	638	638
(当月認定者数)	(5)	(4)	(3)	(7)	(2)	(11)

○認定農業者数(地区別) (平成30年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
30年3月末(比較%)	390(98.9)	140(100.0)	108(101.9)	638(99.7)
29年度内認定(新規)	42(14)	9(4)	21(6)	72(24)
29年3月末認定農業者数	394	140	106	640

○新たな経営指標への取組状況

認定3年目(平成26年度認定) 164名(集合指導会を延べ15日開催)

認定5年目(平成24年度認定) 72名(再認定の更新時に確認)

○集合指導会開催日 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
黒磯	—	—	6/2, 27, 28	—	8/2, 3	9/5, 8	②認定農業者の育成・支援及び認定農業者の会の運営【公
西那須野	—	—	—	—	8/4	9/6	
塩原	—	—	6/29	—	8/1	9/7	
審査会	4/25	5/22	—	7/3	8/3, 28	9/28	
	10月	11月	12月	30.1月	2月	3月	計
黒磯	10/17	11/6, 7	12/5	1/10	2/6	3/5	14回
西那須野	10/18	11/9	12/7	1/11	2/8	3/9	8回
塩原	10/19	—	12/8	—	2/8	3/6	7回

1】

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、昨年度の反省点を踏まえながら適宜役員会と班長会議を開催し、新たな事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めた。

全体事業としては、会員の資質向上を目的とした活動として、高知県で開催された第18回全国農業担い手サミットへの参加のほか、姉妹都市であるひたちなか市への訪問、県外の先進農家および農業用機械メーカーの視察、6次産業化振興イベントの視察等を実施した。

また、地域事業としては、農業への理解及び地域貢献を目的とした活動として、各種イベントにおける認定農業者が生産した農産物のPR事業や、小学生の親子を対象とした農業収穫体験事業等各地区の特色を生かした事業を開催した。

そのほか、当社が開催する農業経営改善に関する講演会や講習会、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的な参加を図った。

○事業実施内容一覧：43 事業 参加人数延べ 583 名

(1) 那須塩原市認定農業者の会

①会議関係：20 件 参加人数延べ 257 名

開催日	実 施 内 容	人数
4月17日(月)	第1回役員会 ※年間活動計画についてほか	14名
4月24日(月)	第1回班長会議(箒根地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	10名
4月25日(火)	第1回班長会議(黒磯地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	6名
6月15日(木)	第1回班長会議(鍋掛地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	9名
6月20日(火)	第1回班長会議(塩原地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	3名
6月20日(火)	第1回班長会議(高林地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	12名
6月21日(水)	第1回班長会議(東那須野地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	9名
6月23日(金)	第1回班長会議(西那須野・狩野地区) ※年間活動計画、地区事業についてほか	8名
9月11日(月)	第2回班長会議(西那須野・狩野地区) ※地区事業についてほか	7名
9月15日(金)	第2回班長会議(東那須野地区) ※地区事業についてほか	7名
11月30日(木)	第2回役員会 ※今後の活動内容についてほか	11名
1月17日(水)	第3回役員会 ※役員、班長の任期についてほか	16名
2月5日(月)	第2回班長会議(箒根地区) ※役員、班長の任期についてほか	7名
2月6日(火)	第3回班長会議(東那須野地区) ※役員、班長の任期についてほか	5名
2月7日(水)	第2回班長会議(鍋掛地区) ※役員、班長の任期についてほか	5名
2月8日(木)	第2回班長会議(黒磯地区) ※役員、班長の任期についてほか	4名
2月15日(木)	第2回班長会議(高林地区) ※役員、班長の任期についてほか	10名
2月26日(月)	第3回班長会議(西那須野・狩野地区) ※役員、班長の任期についてほか	6名
3月6日(火)	第4回役員会、平成29年度会計監査 ※定期総会について	12名
3月16日(金)	平成29年度定期総会 農業経営改善研修会(農業のIoT化への取組について)	96名

②事業関係：17件 参加人数延べ 302名

開催日	実施内容	人数
5月20日(土)	黒磯地区事業 ※市内小学生親子を対象としたいちご収穫体験	8名
5月20日(土)	箒根地区事業 ※市内小学生親子を対象とした田植え体験	8名
6月20日(火)	塩原地区事業打合せ ※野菜収穫体験の実施について	3名
7月28日(金)	先進地視察研修会(茨城県) 茨城県(稲敷市/稲敷市及びあずま有機米研究会、美浦村/スガノ農機)	25名
8月24日(木)	6次産業化視察研修会 ※東京都(アグリフード EXPO2017、国立博物館)	29名
9月2日(土)	黒磯地区事業 ※市内小学生親子を対象とした枝豆収穫体験	9名
10月7日(土)	箒根地区事業 ※市内小学生親子を対象とした稲刈り体験	8名
10月15日(日)	西那須野・狩野地区事業 ※畜産フェアで新米つかみどり、牛乳試飲会	8名
10月21日(土)	東那須野地区事業 ※巻狩りまつりで新米つかみどり、おにぎり試食会	12名
10月23日(月) ～25日(水)	全国農業担い手サミット in こうち ※畜産・JA出資型法人コース、果樹・鳥獣利活用コースへの参加	8名
10月28日(土)	鍋掛地区事業 ※市内小学生親子を対象としたさつまいも収穫体験	8名
11月3日(金)	東那須野地区事業 ※JR 那須塩原市駅で新米無料配布会	11名
11月12日(日)	高林地区事業 ※青木道の駅収穫祭で新米つかみどり、牛乳試飲会	10名
11月25日(土)	塩原地区事業 ※市内小学生親子を対象としたほうれん草収穫体験	6名
1月30日(火)	農業経営改善講演会への参加協力	110名
2月10日(土)	鍋掛地区事業 ※市内小学生親子を対象とした干しいも加工体験	6名
2月14日(水)	全体研修会 ※姉妹都市交流会(ひたちなか市：認定農業者の会会長、大丸屋)	33名

(2) 那須地区会議、事業関係：6件 参加人数延べ 24名

開催日	実施内容	人数
4月25日(火)	那須地区認定農業者協議会第1回役員会 ※年間活動計画について他	3名
7月7日(金)	那須地区認定農業者協議会視察研修会 山形県(高島町/ファームおそのづか、飯豊町/JA 山形おきたま飯豊支店)	3名
11月9日(木)	平成29年度栃木県農業担い手躍進大会への参加協力	8名
3月8日(木)	那須地区認定農業者協議会視察研修会への参加協力 ※平成29年度日本農林漁業トップリーダー発表会	2名
3月19日(月)	那須地区認定農業者協議会第3回役員会 ※定期総会について	4名
3月23日(金)	平成29年度那須地区認定農業者協議会 定期総会農業経営改善セミナー(収入保険制度の概要について)	4名

③青年等就農計画認定審査及び青年就農給付金承認審査【公1】

農業者の高齢化に伴い新たな担い手の確保が急務となる中、農業経営に意欲的に取り組む農業後継者や青年等就農者の確実な定着と育成を目的とした事業への新たな取組を行った。

具体的には、非農家の就農希望者や農家子弟の新規就農者からの相談に対し、新規就農者向けの様々な制度(認定新規就農者の資格取得、青年就農給付金(平成29年度より農業次世代人材投資資金に名称変更))

等)の紹介をはじめ、その活用方法について指導し、新たな担い手の発掘と確保に努めた。

○就農計画・給付金認定実績

青年等就農計画認定者数	5名(うち1名は計画変更認定)
青年就農給付金認定者数	5名(うち2名は計画変更認定) ※経営開始型
認定審査会開催数	5回(7/3、9/28、10/30、2/21、3/27)
新規就農相談者数	29名
認定新規就農者数	18経営体(H30.3.31現在)

(4) 農林業施設の管理運営事業【公2】

①青木ふるさと物産センター管理運営事業【公2】

青木ふるさと物産センターの指定管理者として、本市の農産加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを実施し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、市民への憩いの場を提供した。

○平成29年度「明治の森・黒磯」利用状況 ※利用者数は、道の駅が推定、青木邸が実数である。

月	道の駅利用者数	利用者前年比	売上高計	売上高前年比	青木邸有料入館者数	入館者前年比
4月	40,400名	103.5%	13,488,278円	103.5%	642名	90.9%
5月	55,045名	100.1%	19,550,414円	101.4%	1,342名	85.5%
6月	52,465名	107.4%	15,688,246円	111.6%	866名	110.0%
7月	59,400名	103.5%	17,797,938円	101.3%	1,271名	105.7%
8月	72,335名	106.1%	25,776,558円	106.3%	2,115名	109.2%
9月	63,370名	106.1%	19,883,656円	115.3%	1,080名	78.8%
10月	59,410名	93.3%	18,269,859円	93.8%	1,128名	81.3%
11月	48,645名	104.1%	15,165,938円	105.2%	952名	74.0%
12月	36,470名	99.8%	11,859,330円	102.8%	275名	66.6%
1月	24,850名	114.1%	7,788,733円	110.9%	183名	90.1%
2月	28,645名	113.3%	9,141,309円	109.2%	208名	86.0%
3月	40,135名	115.9%	13,545,428円	111.8%	548名	102.2%
計	581,170名	104.4%	187,955,687円	105.4%	10,610名	91.2%

○イベント内容：12事業 推定来客数 29,950名

開催日	イベント名	内容	来客数
4月23日(日)	春の感謝祭	割引販売 牛乳、鍋の無料配付 抽選会、堆肥の無料配付	2,990名

7月9日(日)	那須高原ロングライド エイドステーション	スポーツドリンク、水、お菓子、牛乳、きゅうりの漬物配布	—
8月6日(日)	夏の感謝祭	牛乳、堆肥の無料配布、オカリナコンサート 農産物、ジェラートの値引き販売	3,530名
8月10日(木) ～8月15日(火)	道の駅大集合inイン ターパーク	福田屋インターパーク店における特産品の販売	—
8月19日(土)	マロニエプラザ感謝祭	牛乳無料配布、パンの試食 農産物の販売	10,000名
8月31日(木)	野菜の日イベント	農産物の割引販売、ボックスティッシュ配布、牛 乳の無料配布	2,180名
10月28日(土) ～29日(日)	滑川高等学校商業科販 売実習への協力	野菜、特産品の卸販売	—
11月12日(日)	秋の収穫祭	割引販売、堆肥・苗木の無料配布、鍋の無料配布、 抽選会	3,770名
12月23日(土・祝)	クリスマスイベント	ホットミルク、卵のつかみ取り ポップコーンの無料配布	2,170名
1月4日(木)	初売りイベント	抽選会、おしるこの配布、福袋販売 野菜の詰め放題	1,250名
2月11日(日)	バレンタインイベント	チョコのすくい取り、野菜の詰め放題、 チョコイチゴ、ポップコーンの配布	2,000名
3月3日(土)	ひなまつりイベント	甘酒の配布、ひし餅が当たる抽選会、野菜の詰め 放題、牛乳の飲み比べ	2,060名

※来客数については、推定である。

#### ②青木ふるさと物産センターにおける収益事業【収1】

物産センター内の販売コーナーを使用し、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の野菜不足解消のため商品の仕入販売、こいのぼり・クリスマスツリー・つるし雛等季節の飾りつけをし、利用者の確保に努めた。また、野菜や加工品生産者のPOPを売場に設置し、生産者の顔の分かる売場を目指した。

ホームページやWiFi機能を生かし、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

#### ③道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、トイレ、駐車場など道の駅全体の良好な維持管理に努めた。また、ハンナガーデンに季節の花を植栽し、訪れる人へのやすらぎの場を提供した。

#### ④とちぎ明治の森記念館維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸の適切な管理を行った。また、文化財防火デーに合わせ、那須地区消防組合と合同での消防訓練も実施し、利用者が安心して施設を利用できるように努めた。

(5) 都市農村交流促進事業【公1】

①ふれあい農園管理

都市住民の野菜等の栽培を通じて自然と触れ合いたいというニーズに応え、市内の遊休農地等の未利用農地を有効活用し、市民を対象としたふれあい農園を開設し、管理業務を行った。

利用者は、自然との触れ合いを通じて農業への理解を深め、農地所有者においても農作物の作付けや農作業の相談を受ける等、お互いに交流を図ることで都市と農村との相互理解を深めている。

管理面においては、農園の利用状況について適宜現地確認を行い、不良箇所の整備、利用者からの苦情等への対応を図った。加えてホームページで農園情報を公開し、空き区画への対応等利用率の向上に努めた。

また、今年度の新規事業として、農園利用者向けに専門家を招いた野菜栽培の講習会を実施し、利用者の栽培技術向上と利用促進を図った。

○ふれあい農園利用状況

(平成30年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
農 園 箇 所	6	6	2	14
区 画 数	103	180	33	316
利用区画数(比較%)	90(102.3)	179(101.1)	28(112.0)	297(102.4)
前年度利用区画数	88	177	25	290

○ふれあい農園出前講座：5事業 参加人数計42名

開催日	会場	内 容	参加人数
6月10日(土)	若葉町農園	夏撒き野菜の定植等	8名
6月17日(土)	西三島農園	夏撒き野菜の定植等	7名
7月8日(土)	豊浦農園	夏撒き野菜の定植等	8名
8月19日(土)	若葉町農園	秋撒き野菜の定植等	9名
8月27日(日)	西三島農園	秋撒き野菜の定植等	10名

※講師：三森 一美氏（シルバーファーマー講師）

②農業体験交流

農村資源の有効活用と農村地域の活性化を目的に、道の駅「明治の森・黒磯」を発着とするウォーキングイベントを実施した。

また、地元の小学生に農業の体験、収穫の喜びを学んでもらうための収穫体験を実施したほか、認定農業者の会の地域事業と連携し、市内小学生の親子を対象とした農業収穫体験を行った。

○農業交流体験内容：10事業 参加人数 304名

開催日	事 業 名	内 容	人数
5月20日(土)	親子で集まれいちごの収穫体験	黒磯地区の小学生親子を対象としたいちごの収穫体験	18組 45名

5月20日(土)	親子で集まれ春の田植え体験会	西那須野、箒根地区等の小学生親子を対象とした田植え体験	12組 31名
6月27日(火)	青木小学校収穫体験	青木小学校3年生によるトマト収穫体験	14名
9月2日(土)	親子で集まれ枝豆の収穫体験	黒磯地区の小学生親子を対象とした枝豆の収穫体験	12組 28名
10月7日(土)	親子で集まれ稲刈り体験	市内の小学生親子を対象とした稲刈り体験	6組 18名
10月25日(水)	青木小学校芋ほり体験	青木小学校2年生によるさつまいもの収穫体験	21名
10月28日(土)	親子で集まれ野菜収穫体験	市内の小学生親子を対象としたさつまいもの収穫体験	12組 36名
10月29日(日)	田園ウォーキング	道の駅「明治の森・黒磯」を発着とするウォーキング(約8kmのコース)	57名
11月25日(土)	親子で集まれほうれん草収穫体験	市内の小学生親子を対象としたほうれん草の収穫体験	12組 35名
2月10日(土)	親子で集まれほしいも加工体験	鍋掛、東那須野地区等の小学生親子を対象とした干し芋加工体験	6組 19名

(6) 農業情報の収集、分析、提供事業【公1】

新聞やインターネット等様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報の収集、分析及び提供を行い、農業経営の改善を推進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会開催周知の情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じてより広く提供を行った。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広い情報発信を行うとともに、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得できるよう整備し、利用者の利便性を図った。

(7) 地域特産物の研究開発及び商品化に関する事業【公1】

地域の資源を活用した特産品を開発するための調査研究を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行った。

① 地元農産物を使用した特産品の試作、研究開発

ふるさとにしなす産直会から、そすいドック開発及び試食販売事業・商品化に関する申請書が提出され、事業終了後に助成金の交付を行った。

事業名	そすいドック開発及び試食販売事業・商品化
団体名	ふるさとにしなす産直会
事業内容	地元産の農畜産物を使用した「そすいドック」の開発
実施期間	平成29年8月～平成29年12月
実施内容	那須塩原市産の農畜産物を使用した、「そすいドック」の開発を行った。各種イベントに参加してPR販売を実施し、販路の拡大、那須塩原市のイメージアップを図った。

② 地元農産物及び加工品を活用したギフト作り

地元農産物及び農産物加工品を活用したギフト作りとして、道の駅「明治の森・黒磯」のお中元とお歳暮セットの開発・研究を行った。

○販売実績

	ギフト名	販売実績
お中元セット	青木季節の野菜詰め合わせセット	4 個
お歳暮セット	青木ふるさとトマト鍋セット	11 個
	とろろ雑煮セット	8 個
計		23 個

③ 市ふるさと納税のお礼品の販売

ふるさと納税のお礼品として、道の駅「明治の森・黒磯」季節の野菜詰め合わせセットや果物等の販売を行った。

○販売実績

ギフト名	販売実績
季節の野菜詰め合わせセット	58 個
麦みそと野菜の詰め合わせセット	11 個
リンゴの箱詰め	41 個
梨の箱詰め	8 個
計	118 個

(8) シルバーファーマー事業【公1】

①シルバーファーマー養成支援塾

農業に関心があり、労働意欲が旺盛な市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するため、併せて新規就農や農業生産法人への就職を希望する方など農業にかかわって行きたい方の農業を学ぶ場としてシルバーファーマー養成支援塾を行っている。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い農業者としての知識と技術の習得に努めた。

具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

実施期間	平成29年4月16日～平成29年12月3日		
受講者数	23名（男性15名 女性8名）		
研修場所	栃木県農業試験場黒磯農場		
実施回数	20回（机上研修・圃場研修・実地研修）		
講師数	3名		
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、ねぎ、にんじん、大根、白菜、セロリ、レタス		
実地研修	5/28	遅沢氏（西遅沢）圃場	なすの芽かき 21名参加
	7/30	小山氏（中塩原）圃場	大根の間引き・収穫・洗浄 21名参加



	10/15 益子氏（鍋掛）圃場 トマトの葉かき 17名参加
収穫祭	11/5 鳥野目オートキャンプ場にて、研修圃場で栽培した野菜を使用し、交流会を行った。

②シルバーファーマーの活用

シルバーファーマー養成支援塾を受講した第1期生から第7期生までの人材登録者と、シルバーファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを無料職業紹介所として行った。

(平成29年度)

シルバーファーマー養成支援塾修了生	171名	男性142名 女性29名
シルバーファーマー人材登録数	124名	男性106名 ,女性18名
シルバーファーマー活用登録件数	3件	
マッチング件数	2件	
マッチング人数	3名	男性3名
継続勤務	13名	

(9) その他目的を達成するために必要な事業

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営の推進に努めた。

〈法人管理〉

2 評議員会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成29年5月29日 那須塩原市役所 303会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度事業の報告について
		議案第4号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度決算の承認について
2回	平成29年8月24日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
3回	平成29年11月20日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度第1回補正予算の承認について
4回	平成30年3月13日 那須塩原市役所 303会議室	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度第2回補正予算の承認について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社定款の一部変更について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成30年度事業計画書及び収支予算書等の承認について

3 理事会に関する事項

区分	開催年月日・場所	付議（決議）事項	
1回	平成29年5月11日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度事業報告について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成28年度決算について
		議案第4号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について
2回	平成29年5月29日 (決議の省略による)	議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社業務執行理事（常務理事）の選定について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社第19回評議員会の開催について
3回	平成29年8月24日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社第19回評議員会の開催について

4回	平成29年11月20日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度第1回補正予算について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社第20回評議員会の開催について
5回	平成30年2月21日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成29年度第2回補正予算について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社定款変更案について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成30年度事業計画書及び収支予算書等について
		議案第4号	定期提出書類（事業計画書等）について
		議案第5号	字句修正に係る委任決議について
		議案第6号	公益財団法人那須塩原市農業公社第21回評議員会の開催について

#### 4 登記に関する事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成29年5月29日	宇都宮地方法務局	評議員、理事の変更	平成29年6月7日
平成29年8月24日	宇都宮地方法務局	評議員、理事の変更	平成29年9月4日

#### 5 栃木県知事への届出等に関する事項

届出等年月日	事項	備考
平成29年6月27日	定期提出書類（事業報告等）	県経営技術課
平成29年6月28日	変更届（評議員、理事の変更）	県経営技術課
平成29年9月19日	変更届（評議員、理事の変更）	県経営技術課
平成30年3月30日	定期提出書類（事業計画等）	県経営技術課

#### 6 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成29年4月1日	那須塩原市 農務畜産課	農用地利用集積事業、農業経営改善事業、農業経営基盤強化推進対策事業（機構集積協力金推進業務）、認定農業者の会活動支援事業、農業者海外研修派遣事業、市民農園管理 ※青木ふるさと物産センター管理業務委託契約（H29.3.31）
平成29年4月1日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館維持管理業務委託契約
平成29年4月1日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約、道の駅「明治の森・黒磯」自動車用急速充電器維持管理業務委託契約
平成29年4月3日	那須塩原市 農務畜産課	青年就農給付金推進事業、青年等就農計画認定審査業務、那須塩原市農村生活研究グループ協議会活動支援事業
平成29年4月3日	(公財)栃木県 農業振興公社	特例事業業務委託契約、農地中間管理事業業務委託契約
平成30年3月1日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業変更契約

7 評議員に関する事項 (平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
評 議 員	君 島 寛	平成28年3月14日 就任	那須塩原市長
評 議 員	屋 代 重 夫	平成27年6月4日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
評 議 員	君 島 良 一	平成29年8月24日 就任	那須塩原市農業委員会会長
評 議 員	田 代 仁	平成24年10月1日 就任	黒磯土地改良区事務局長
評 議 員	久留生 とも子	平成29年5月29日 就任	前那須塩原市栃木県農業士会会長
評 議 員	松 本 良 則	平成29年5月29日 就任	那須塩原市認定農業者の会会長

8 役員に関する事項 (平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事 長	片 桐 計 幸	平成29年1月1日 就任	那須塩原市副市長
常 務 理 事	関 谷 正 徳	平成29年5月29日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理 事	荒 井 宏 幸	平成29年5月29日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理 事	人 見 み 子	平成28年5月26日 就任	前那須塩原市栃木県農業士会代表
理 事	加 藤 拓 央	平成29年8月24日 就任	那須塩原市農業委員会会長職務代理者
理 事	蓮 實 宏 行	平成29年5月29日 就任	那須野農業協同組合営農部長
理 事	相 馬 賢 市	平成28年5月26日 就任	前那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理 事	大 平 和 広	平成25年5月27日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監 事	山 田 勝 己	平成27年6月4日 就任	那須野農業協同組合理事
監 事	松 江 孝 一 郎	平成28年5月26日 就任	那須塩原市会計管理者

9 職員に関する事項 (平成30年3月31日現在)

所 属 区 分	人 員	職 員 区 分				備 考
		市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用 臨時職員	
公 社 事 務 局	事務局長	1	1			
	係 長	2		2		
	係	6		2	2	
道 の 駅	所 長	(1)	(1)			事務局長兼務
	係	8			8	
計	17	1	2	4	10	

## 事業報告附属明細書

平成 29 年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。